



参加企業からマッチング第1号が生まれることを期待

副業で業務改新に期待

地域貢献副業プロジェクト地元企業向け勉強会

地域貢献副業プロジェクト【関連記事20頁】の地元企業向け勉強会は10月17日、市役所で行われました。勉強会には、市内企業の代表者ら約20人が参加。働き方改革や人材確保の現状、「Skill Shift」の仕組みについて説明を受けた後、副業社員の受け入れを想定したシートを作成し、活用の可能性を探りました。参加者の一人は「営業企画に長けた人材を受け入れたい。新しいアイデアはもちろん、受け入れによる社員の意識改革につながれば」と期待を寄せていました。

炭窯が深める館市の絆

館市炭窯お披露目会

館市炭焼きクラブ(阿部健男部長、部員23人)は11月5日、館市地区コミュニティセンター近くの手作りした炭焼き窯を住民ら約30人にお披露目しました。会に合わせて2日前から炭材に火付け。いよいよ窯から炭が取り出されると、歓声が上がりました。同クラブの阿部部長は「子どもたちにも炭焼きを覚えてもらい、地域みんなで継承していきたい」と期待を込めました。同事業は、地域の活性化などを目的に「地域づくり一括交付金」が活用されています。



灼熱の窯から100kg以上の木炭を取り出します



褒状を贈呈される遠藤姓三さんと八重子さん

結婚60年の節目を祝う

八幡平市ダイヤモンド婚を祝う会

結婚60年を記念する市ダイヤモンド婚を祝う会は10月31日、いこいの村岩手で行われました。会には、市内対象22組の夫婦のうち7組が出席。二人で積み重ねてきた年月を褒めたたえ、伊藤昇市社会福祉協議会長から出席者へ褒状が贈呈されました。遠藤姓三さん(84)と八重子さん(79)＝駅前＝は「あつという間の60年。苦労もあったけど、二人三脚で乗り越えてこられた。これからも仲良く暮らしていきたい」とお互いをねぎらい、笑みを広げました。

伝統受け継ぎ児童舞う

第6回松尾地区ふれあいまつり

第6回松尾地区ふれあいまつりは11月4日、5日の両日、松尾コミュニティセンターで開催され、同地区内の児童・生徒のステージ発表やヒップホップダンス、マグロの解体ショーなど、イベントを楽しむ多くの来場者でにぎわいました。寄木念仏剣舞では、綾踊り、駒踊り、太刀踊りの3曲が披露されました。太鼓担当の畠山瞳さん(寄木小6年)は「自分にとって最後の演技でしたが、気持ちよく太鼓を叩けて良かったです」と笑顔浮かべました。



寄木念仏剣舞の「太刀踊り」を元気に踊る児童たち



タグを奪取されないよう相手陣地に全速力で走りました

相手陣地目指して走る

タグラグビー教室

タグラグビー教室は11月15日、22日、29日の3日間、市総合運動公園体育館で開催されました。参加した市内小学校の児童は3日間で延べ約150人。ラグビー経験者・大更小の大谷冬太校長らが講師となり、タグラグビーのルールを説明し、パス回しやミニゲームなどを行いました。松尾野球スポーツ少年団の小林哉仁君(松野小6年)は「タグラグビーは初めての競技で難しかったけど、走って楽しかった」と笑顔を見せていました。

さんさで地域を元気に

第11回男女共同参画フォーラム

第11回男女共同参画フォーラム(市男女共同参画ネットワーク主催)は11月18日、松尾コミュニティセンターで開催されました。フォーラムでは、八幡平さくらさんさ愛好会の山口聡子代表が「八幡平さくらさんさで地域を元気に」と題し、さんさ踊りを通して世代間交流や地域を超えた人とのつながりの大切さを語りました。講演後は、平笠裸参りや浅沢神楽などの団体関係者も加わり、伝統芸能の役割などを話し合いました。



華やかなさんさ踊りを披露するさくらさんさ愛好会のメンバー

すなっぷギャラリー



短期間でプログラミングスキルを磨くスパルタキャンプ開催(11月4日、市起業家支援センター)



市食材を使用した料理でもてなし、感謝の気持ちを伝えました(11月27日、市ふるさと応援感謝祭in東京)



大館市の富樫弘さんより市内小中学校へ、八幡平の四季の絶景を収めた写真集寄贈(11月17日、市役所)



そばをこねながらの会話に笑みがこぼれました(11月12日、浅沢地区教育振興「ふれあい集会」)



ランナーたちが一斉にスタート(11月5日、市スポーツ少年団駅伝祭り・市松尾総合運動公園特設コース)